

# セ ボ ス

タガヤ

ボランティア

ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン  
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2015.1 No.129

今月のトピック

特集●

## 都市型災害に学び、 次なる災害にそなえる

～阪神大震災から20年、災害につよい世田谷をつくろう～

まちの市民力! ● タガヤセ大蔵

キラリ世田谷人 ● 飯島 欣子さん



イラストレーション● おおの麻里  
イラストレーター。雑誌・書籍・広告等で活動中。水彩で描くイラストの他にトランプで使ったモバイルなども制作する。泳ぐことが好き。

●わたしの世田谷  
犬と歩く散歩道で小さな緑の実をひとつもぎる。ポタリと落ちてつぶれた柿はよけて行く。大きなカリンのうす黄色い肌をそっとなでたりする。

## 都市型災害に学び、次なる災害にそなえる

～阪神大震災から20年、災害につよいせたがやをつくろう～



写真提供/阪神・淡路大震災「1・17の記録」サイトより  
<http://kobe17shinsai.jp/>

1995年1月17日の阪神・淡路大震災（以下、阪神大震災と略）から20年が経ちます。そして4年前には東日本大震災が発生。大規模な災害が記憶の新しいうちに起こっています。また、首都直下地震発生確率の確率は、30年以内に70%とも言われています。阪神大震災から20年の節目を迎えるいま、復興まちづくり研究所副理事長の原昭夫さんにお話をうかがい、首都圏に暮らす者として、都市型災害を経験した神戸から再び学びたいと思います。合わせて、せたがや災害ボランティアセンターの新たな動きについてお伝えします。

### 神戸の経験から 「仮設市街地」構想へ

原さんは、20年前の阪神大震災当時、世田谷区の都市整備部長として神戸を何度も訪れ、被災地の状況をつぶさに見てきました。その後、1999年の台湾、トルコで発生した地震の被災地をまわりに携わる仲間と訪れ、それらの経験から導き出した「仮設市街地」を提言し、都市計画やまちづくりの専門家数人とともに仮設市街地研究

会を立ち上げました。会はその後2011年に「NPO法人復興まちづくり研究所」に改組しました。「神戸では仮設住宅を建てまくったんです。それも被災した場所から遠い山側、海側につくり、抽選で割り当ててコミュニティに關係なくバラバラに住ませた。しかし長期にわたる避難生活は仮設住宅だけではくらし全体を支えることはできません。被災した人びとは避難所に7ヶ月、仮設住宅に5年住まわされました。高齢者を5年も「ハコ」の中に閉じ込めておくのはマズイです。そこで仮設住宅をつくるには集会所、作業所、医療施設、広場などを含めた『まちづくり』として取り組むべきだと考え、私たちはそれを『仮設市街地』と名づけたのです」

台湾やトルコの被災地では、仮設住宅の中に授産所や職業訓練所などがあり、就業につなげていく復興の様子を原さんは目の当たりしていました。東日本で大震災



釜石市のコミュニティケア型仮設住宅。ケアゾーンはバリアフリーのウッドデッキ。向かい合わせに並んだ玄関は自然と挨拶を生み出す。

が起きたとき、神戸の苦い経験に学び、仮設住宅だけを兵舎のように建てるのではなく、漁業など就業の場をつくらなくてはならないと自治体に提言をしてみました。その中で、遠野市の市長が提言に共鳴したり、釜石市の仮設住宅では高齢者や障がい者など何らかの支援を必要とする人の住居が集まるケアゾーンと、子どもゾーン、一般ゾーンで構成されるコミュニティケア型のひとつの「まち」にする試みがなされるなど、東北の

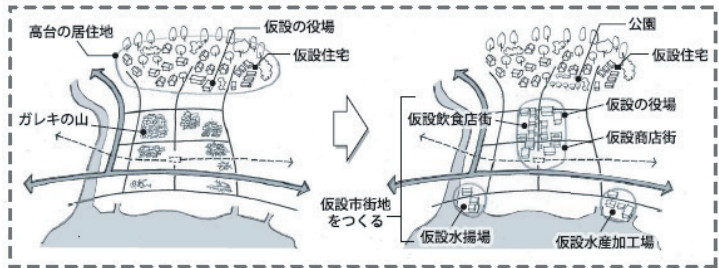
復興にこの考えが生かされてきました。

「仮設市街地」をコミュニティの再生に

岩手県陸前高田市の広田町にある長洞集落では、公有地がないため、住民たちが自ら仮設住宅用の土地を手当し、行政に仮設住宅の建設を要望しているということだったので、原さんたちは「押しかけて」いって、支援をするようになりました。ここには、地域の人びとがバラバラになることを避けようという意気込みがあり、被災地に近接したところに、コミュニティが丸ごと移り住み、被災者主体で動くという、まさに「仮設市街地」構想が実現しています。

「仮設市街地」を構想する時に考えなくてはならない原則が4つある、と原さんは言います。いずれも阪神大震災の経験から導き出されたものです。

(1) 地域一括原則―被災地にもともとあったコミュニティを一括して同一地区の仮設住宅に入居できるようにし、コミュニティぐるみの復興をめざす。



仮設市街地研究会緊急提言（2011年7月）より「仮設市街地」イメージ図

(2) 被災地近接原則―できる限り被災地に近い場所にまとまる。

(3) 被災者主体原則―被災者が待っているだけでなく、復興の主体となる。被災者は同時にその後の復興まちづくりの主体でもあり、「復興力」をもつて参加していくことが新たな地域社会をつくることにつながる。

(4) 生活総体原則―住宅だけでなく、暮らしに必要な施設を備える。

阪神大震災から20年経った今、活火山がいたるところにあり、地震の巣とも言われる日本列島、首都直下地震の可能性も強まっています。都市型災害という神戸の経験に今一度真摯に学ぶ必要があるでしょう。原さんは言います。「神戸はさまざまナヒントを与えてくれた原点。昔話をするのではなく、まちづくりのヒントを持つ宝庫として活かすことが、今極めて重要です」

世田谷ではどうする？

阪神大震災や東日本大震災における経験から学ぶべきことはたくさんあります。しかし世田谷のような都市部・市街地では、東北のようにコミュニティが丸ごと移り住めるような仮設住宅を建てる広い土地を確保するのが難しく、そのまま世田谷にあてはまるわけではありません。そもそも平時のコミュニティ自体が弱体化し、崩れかかっているのが都市部の現状なのです。

世田谷では東北と同じようにはいかないことを認識しつつも、平時のまちづくりと、その延長線上にある災害時のまちづくりをどうしていくか考えるきっかけにしたいと思います。

毎年1月に開催し、28回目を迎えるイベント「神戸をわすれない」は、「神戸をわすれない・せたがや」、「復興まちづくり研究所」、「せ

たがや災害ボランティアセンター」の共催で、神戸20年から学び、首都直下地震に備えるべく、1月31日にシンポジウムを開催します。2月22日には世田谷ボランティア協会をささえる会主催の「ワインと映画の夕べ」でドキュメンタリー映画『逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者』の上映が予定されています。また、3月1日には世田谷ボランティア協会と世田谷区社会福祉協議会が共催で、東日本大震災復興支援イベントを開催します。

これまでの事例に学びつつ、世田谷の地でどういうことが可能なか、これらのイベントを通してみなさまとともに考えていきたいと思えます。いまからの備えは遅すぎること早すぎることありません。いまできることをひとつずつ積み上げて災害に負けない世田谷をつくっていきましょう。

(取材／星野弥生)

## ●せたがや災害ボランティアセンターはいま●

世田谷区と世田谷ボランティア協会は、災害発生時にはボランティアによるさまざまな支援活動が不可欠となるという共通認識のもとに、2004年に災害時の協力協定を結びました。翌年には、この協定に基づいて世田谷ボランティア協会内に「せたがや災害ボランティアセンター」（以下、災害ボラセン）が常設され、もうすぐ10年になるうとしています。これまでに災害ボラセンでは、災害時の活動マニュアルの作成、人材養成講座の実施、支援活動ネットワークの構築、防災訓練への協力などの活動に取り組んできました。

東日本大震災が起きてからは、ただちに専門ボランティアおよびボランティアバスの派遣を中心とした被災地支援活動を開始し、現在も継続しています。また、日常の活動においても、実際に世田谷で大災害が発生したときを想定して、実践的なシステムづくりとシステムを稼働させるための人づくりを急いでいます。

世田谷が被災したときのボランティアへのニーズは、避難所や被災住宅、被災地域、区の物資取扱場所、さらには避難者がいる公園など様々な場所で、様々な状況下の方たちから湧き出てくるでしょう。そのニーズに応えるためには、職能や技能を持った人たちを含めた大勢のボランティアを受け入れて、ボランティアと活動場所とをつなぐ役割を果たす「マッチングセンター」が必要となります。

そこで災害ボラセンでは、区内の5支所ごとに大学等の施設を借用してマッチングセンターを開設する予定です。このマッチングセンターは、世田谷が大規模災害に襲われたとき、ボランティアとして全国から駆けつけてくれた人たちがスムーズに支援場所に入れるようにし、またさまざまなボランティアの支援を必要とする現場からの要請にうまく応えられるようにするための、災害ボランティア活動の中心拠点となるでしょう。

災害ボラセンでは、従来型のマッチングセンターを乗り越えた、より総合的な機能をもつマッチングセンターの開設、運営を目指して、システムづくり、大学との協議、そして区や社会福祉協議会との調整を進めています。

（せたがや災害ボランティアセンター運営委員長 横山康博）





## タガヤセ大蔵

# まちの 市民力!!

取材・市川 徹

●  
街の中で地域やそこで暮らす  
人たちと一緒に活動している  
団体を紹介します



大蔵5丁目にある「タガヤセ大蔵」。祖父が倒れたことをきつかけに事業を引き継いだオーナーの安藤勝信さん。しかし築30年、駅から徒歩25分の賃貸アパートはなかなか埋まらず、入居者探しを断念。ならば空き家を地域のために使ってもらおうと、いろいろな人に相談する中で、「福祉は住宅に始まり、住宅で終わる」という話を聞き、地域に開かれた高齢者のデイサービスをつくることに。安藤さんと建築家と社会福祉法人と三者で2年間の検討を重ね、区の「世田谷らしい空き家等の地域貢献活用モデル」のモデル事業に選ばれ、2014年9月にオープ

ンしました。

「将来、自分が行きたくなる空間にしたい」と考え、なるべく介護色のない空間づくりをめざしました。アパートの3部屋の壁を抜いて、椅子や床にもこだわり、木の温もりのある空間です。特徴は部屋の中央にあるオープンキッチン。デイサービスを運営する社会福祉法人大三島育徳会ではみんなできつしよに食事をつくることを大切にしています。また、タガヤセ大蔵ではお手伝いをするだけでなく、地域の人が気軽に来て利用者と楽しくおしゃべりをするのもボランティアと考えています。最近が高齢者施設を新たに建てるといとうと周辺住民からの反対な

ども聞きます。しかし、建物を解体して新築するのではなく、アパート内部の改装に留めたので外観がほとんど変わらず、周囲の住民にとっても安心感がありました。空き家など既存の建物を使うことの強みと言えます。

「今後は認知症カフェや町会の会議、地元のイベントにも使ってもらえれば」と安藤さんは考えています。近くに畑もあるのでデイの利用者と近所の人がいっしょに耕して収穫、その野菜でごはんをつくったり、畑だけでなくコミュニティも耕す「タガヤセ大蔵」！  
「最初は私と空き家しかなくてどうしようかと思っただけ、人のつながりでこういう形になった。まずはやってみました」と安藤さん。「高齢者だけではなく多世代がつかえる場にしていきたい」と将来的には保育園やカフェなどまだまだやりたいことはたくさんあるそうで、この地域がこれからどう変わっていくか楽しみです。



お話をうかがった

飯島 欣子 さん  
いいじま きんこ

相手に寄り添い、話に耳を傾ける傾聴ボランティア。今回のキラリ世田谷人は、傾聴ボランティアをしている飯島欣子さんです。

世田谷ボランティア協会では、傾聴ボランティア養成講座を開催し、個人宅の傾聴のニーズに応えるべく活動しています。その中でも、飯島さんはキラリと光っている方。「私は2011年からずっと同じ方の傾聴ボランティアをしています、月2回お話を聞いています。私が行くことを楽しみにしてください。私自身も楽しんで仕方がないので、私自身も楽しんで『傾聴ボランティア』は聴いて

や  
せた人が  
キラリ

世田谷を中心に活躍する  
キラリと光る素敵なたを  
ご紹介します  
取材●鈴木 朋子

思っています」と、飯島さんは優しい笑顔で話します。

また、「赤ちゃんからお年寄りまで、人間にとつて不安になることが一番良くないと思います」とい、同居していたお義母様を看取られた後は、お義父様に寄り添い、耳を傾け、話しかけていました。「お義父さんがなるべく不安にならないようにいつもいつしよに過ごしていました。『よくお年寄りの面倒を見るね』と言われましたけど、私は全然苦になりませんでした。話すことも好きでしたし、若いころに急に母を亡くし、子育てに追われて悲しむ暇がなかったので、

あげるのではなく、元気をもらうものです。お互いが同じ立場で話をし、良い時間が過ごせたと感じるようにしたいと

義父母は絶対に近くでお世話したかったんです。私だけでなく、子どもたちもおじいちゃんに足湯やマッサージをしたりとても優しく接していました。お義父さんは『みんなよくやつてくれるよ』と嬉しそうに話していました」と飯島さんは言います。そのご両親が亡くなられた後、何か自分にできることはないかと思っていたところ、こうした飯島さんの姿を知っている友人が傾聴ボランティアを薦めてくれたそうです。それならと傾聴ボランティアの講座を受け、活動を始めました。

「私が3年間続けることができたのは、お義父さんの口癖『無理しないで、自然体でいる』こと、そしてボランティア協会の方のマッチングが的確だったこと、いつでも悩みを相談できる安心感があるからです。これからも変わらず続けていきたいです」という飯島さんの自然体でやらかな語り口にやすらぎを感じました。

\*沿線別にイベントやボランティア  
情報を入れていきます。  
詳細はP10～15をご覧ください。

**代田テーブルゲームの会  
お正月遊びをしてみよう**  
1/31 (土) 14時～16時  
代田ボランティアビューロー P14

**第28回神戸をわすれない**  
1/31 (土) 18時～21時  
男女共同参画センターらぶら  
神戸をわすれない・せたがや P12

**ろう不登校 Part187**  
(土) 14時～  
オープンスペース Be! P14

### ●小田急線沿線

- ☆演奏などの特技ボランティア募集 詳細 P10
- ☆小学生の兄妹の帰宅付き添いと自宅での見守り 詳細 P10
- ☆アイロンをかけるボランティア募集 詳細 P11
- ☆音訳ボランティア経験者募集 詳細 P11
- ☆フリースクールのボランティア募集 詳細 P11
- ☆ボランティア拠点でのアルバイト募集 詳細 P12

**バリアフリー新年会**  
(土) 14時～16時 総合福祉センター  
福祉移動支援センター「そとでる」 P13

**梅丘ミニバザー**  
【お得意市】1/23 (金)、24 (土)  
11時～15時  
【食器市】2/6 (金) 11時～16時  
梅丘ボランティアビューロー P13

**傾聴ボランティア養成講座**  
2/4、18、25、3/4、11、18 (水)  
13時半～16時、全6回  
世田谷ボランティアセンター P14

**バザー品提供のお願い**  
1/31～2/10 10時～16時  
玉川ボランティアビューロー P15

おたが  
さいが  
さMAP  
AP



# OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

## ● 京王線沿線

☆ グループホーム夕食会調理 有償スタッフ募集 詳細 P12

## ● 世田谷線沿線

☆ 小2男子の通級の付き添い募集 詳細 P10

☆ 障がい児と一緒に過ごして下さる方募集 詳細 P11

## 子育て支援者養成研修

1/26 ~ 2/16 全6回 9時 ~ 12時 45分  
世田谷区社会福祉協議会 P13

## 津田大介さんと語る

“子どもの未来～福島支援から～”

1/18 (日) 13時 15分 ~ 16時半

梅ヶ丘パークホール

福島の子どもたちとともに・世田谷の会 P15

## ● 東急線沿線

☆ 小1男子の学習支援ボランティア募集 詳細 P10

☆ 日本語を教えるボランティア募集 詳細 P10

☆ 散歩の付き添いボランティア募集 詳細 P11

☆ 囲碁・将棋・麻雀ボランティア募集 詳細 P11

☆ 情報誌「セボネ」の発送作業ボランティア募集 詳細 P12

ココカフェ～発達障がいの方、  
ここでゆっくりしませんか～

1/9 (金) 13時 ~ 16時 (毎月回)

玉川ボランティアビューロー P14

- 京 京王線沿線
- 小 小田急線沿線
- 世 世田谷線沿線
- 東 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。

他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいです。後に続く情報をマップにおとしたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。

★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安には是非ご活用ください。

京王線沿線  
小田急線沿線

世田谷線沿線  
東急線沿線

# ボランティア求む

## 東 小1男子の学習支援ボランティア募集

世田谷地域の小学校に通う男子が、授業中や休み時間にサポーターとしてくれる方を探しています。漢字が大好きな1年生ですが、先生の指示を聞きとるのがちょっと苦手です。授業の進行に沿った声かけをしてもらえると、とても助かります。子どもが好きな女性の方、お待ちしています。詳細はお

## 東 日本語を教えるボランティア募集

地域に暮らす外国人へ日本語を教えるボランティアを募集します。日本語を教えた経験のない方も歓迎です。あなたも一緒に活動してみませんか。

●日時/毎週木曜日10時〜12時

## 小 演奏などの特技ボランティア募集

歌や踊り、楽器演奏、手品など特技を生かして活動したい人を募集しています。代田ボランティアセンター窓口へ来所し受付カードに記入していただき、施設などから依頼があった場合に活動をご紹介いたします。

問合せください。

●日時/木・金曜日のうち週1日から応相談。10時半〜12時20分

●条件/50代くらいまでの女性。交通費支給

●問合せ/玉川ボランティアセンター

TEL 3707・3528

tanaborae@otagaisama.or.jp

●場所/世田谷ボランティアセンター

●交通/三軒茶屋駅徒歩12分

●問合せ/JCA三軒茶屋教室

担当 古井

TEL 3426・0087

●日時/日時はその都度ご相談

●活動場所/世田谷区内

●問合せ/代田ボランティアセンター

TEL 3419・4545

datadorae@otagaisama.or.jp

## 小 小学生の兄妹の帰宅の付き添いと自宅での見守り

小学校の長期休暇中、兄妹のBOPから自宅までの帰宅の付き添いと、保護者が帰ってくるまでのわずかな時間(15分ほど)自宅での見守りをしてくださる方を探しています。

自閉症の小学校中学年のお兄ちゃんも多動の傾向がある低学年の妹が、兄妹げんかになると注意が必要のため、わずかな時間ですが、自宅で見守りが必要です。

最初は、帰宅の付き添いから始め、ゆっくりと子どもたちに慣れて支援して下さる方がいると助か

## 世 小2男子の通級の付き添いをして下さる方募集

小学2年生の男子が、通級(特定の時間だけ他の学校に通う)に通う際、付き添って下さる方を探しています。明るいまるい男の子です。ゆっくり落ち着いて関わってくださる方を探しています。片道だけでも協力頂けるとありがたいです。

●日時/水曜日の午後

●内容/行き:弦巻地区の小学校を13時出発、電車またはバスを

ります。

●日時/小学校の長期休暇中の週に2日程度(曜日は応相談)、11時50分〜12時40分くらい

●内容/BOP/自宅まで(徒歩15分)の帰宅の付き添いと自宅での見守り(梅ヶ丘・豪徳寺周辺)

●条件/子ども好きな女性、交通費支給

●問合せ/梅丘ボランティアセンター

TEL 3420・2520

tanaborae@otagaisama.or.jp

使い、用賀地区の小学校に13時半到着

帰り:用賀地区の小学校を15時半出発、電車またはバスを使い、弦巻地区の小学校に16時到着

●交通/世田谷線上町駅

●条件/交通費応相談

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木

TEL 5712・5101

suzuki@otagaisama.or.jp

**小 アイロンをかけてくださるボランティア募集**

すまいる梅丘は身体に障がいのある方が通所して作業しています。通所者の方の手しごと品（布きんやタオルにミシンで柄入れや刺しゅうをしたもの）にアイロンをかけてくださるボランティアを募集しています。利用者の方と触れ合いながら活動します。年齢、性別は問いません。詳細はお問合

せください。  
●日時/月、火、水、木曜日10時〜11時半  
●場所/すまいる梅丘（世田谷区梅丘1-36-2・100）  
●交通/梅ヶ丘駅徒歩5分  
●問合せ/すまいる梅丘 担当 河村  
TEL 3425・5710

**東 散歩の付き添いボランティア募集**

等々力にお住まいの80代の女性や、散歩の付き添いを求めています。普段は施設で生活していますが、少しの認知症があり、ひとりでは外出ができません。足取りも会話もしっかりしている元気な方です。一緒にのんびり散歩を楽しんでくれる方をお待ちしています。

●日時/平日の昼間、30〜40分程度。月1回から。  
●条件/ヘルパー有資格者。年齢60代くらいまで。性別不問。交通費支給  
●問合せ/玉川ボランティアビューロー  
TEL 3707・3528  
tamabori@otagaisama.or.jp

**小 音訳ボランティア経験者募集**

世田谷録音奉仕グループひびきは、梅丘で35年間視覚障がい者のために録音図書を作り続けています。今回は、デジタル録音、ディジー編集等の音訳ボランティア活動経験者と一緒に活動して下さる方を募集しています。

●日時/例会は毎月第1、第3火

曜日の午前中（作業によっては午後もあり）  
●場所/梅丘ボランティアビューロー（録音、編集作業は自宅）  
●年会費/1000円  
●問合せ/世田谷録音奉仕グループひびき 担当 井上  
TEL 33221・3050

**世 障がい児と一緒に過ごして下さる方募集**

「にじのこ」は心身の発達に遅れや偏りのある幼児・学童・成人へのデイサービスと相談支援事業等を行っています。にじのこ赤堤で特別支援学校などに通う子どもたちと放課後と一緒に過ごして下さる方を募集します。子どもたちはクッキングやアート、散歩などを楽しんでいます。元気な子どもたち

ちを「おかえり」と迎える仲間になつて下さい。  
●日時/月曜〜土曜 14時〜18時  
●場所/デイサービスにじのこ赤堤 交通/松原駅または山下駅  
●問合せ/デイサービスにじのこ赤堤 担当 大林  
TEL 6379・5266  
akatsutsumi@nijiko.jp

**東 囲碁・将棋・麻雀ボランティア募集**

外出が難しくなつてしまった方や高齢者施設に入居されている方から「囲碁・将棋・麻雀の相手をしてくれる方はいませんか？」という相談がボランティアセンターに届きます。これまで楽しんでいた趣味が月に1回1時間でも続けられることは、その方にとってとても喜びになります。そういった依頼があつた時に応じてくださる

方を募集しています。自分のペースで活動して頂けたらと思っています。一度ご連絡頂き、登録して頂けると有難いです。詳しい内容など、お気軽にお問い合わせください。  
●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木  
TEL 5712・5101  
suzuki@otagaisama.or.jp

**小 フリースクールのボランティア募集**

子どもたち・若者の居場所、手づくりの育ちの場として20年運営してきましたが、近年、更にこうした学校外の場の必要が高まってきました。平日の昼間働ける子どもも好きの方を求めています。  
●内容/子どもたちとのものづくり、料理、スポーツ、音楽、語り

り合い、おでかけ、イベント、教材づくり、通信の編集管理など。  
●場所/フリースクール僕んち  
●交通/梅ヶ丘駅 東松原駅徒歩10分  
●問合せ/フリースクール僕んち  
TEL 3327・7142

京王線沿線  
小田急線沿線

世田谷線沿線  
東急線沿線

## ボランティア求む

### 東 情報誌「セボネ」発送作業ボランティア募集

情報誌「セボネ」の発送作業を手伝ってくださる方を募集しています。単発でも参加できます。

●日時／1月30日(金)、2月27日(金)、3月27日(金) 10時～12時、(毎月1回)

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎

TEL 5712・5101

hiyazaki@otagaisama.or.jp

### 有償スタッフ募集

#### 小 ボランティア拠点でのアルバイト募集

世田谷の地域ボランティア拠点で、ボランティアに関する相談業務や、講座など事業の企画立案・実施など、ボランティア活動推進のための事業にかかわるスタッフを募集しています。

●勤務地／①梅丘ボランティアセンター(梅丘1・8・9)  
②代田ボランティアセンター(代田2・20・6)

●交通／小田急線①梅ヶ丘駅徒歩5分 ②世田谷代田駅徒歩1分

●期間／2015年3月以降(応募相談)／2016年3月末(年度ごとの契約、更新あり)

●勤務日時／月曜～土曜日のうち週3日程度(土曜は月～2回)

●9時55分～17時10分  
待遇/時給920円(交通費実費支給、雇用保険あり)

●条件/20歳以上で人とかかわることが好き、好奇心旺盛、地域のために何か始めてみたい方

●応募/履歴書(写真貼付)と作文(応募の動機1200字程度)を下記まで郵送または持参  
1次選考/書類、2次選考/面接(2月下旬)  
締切/2月17日(火) 必着

●問合せ/世田谷ボランティア協会 スタッフ採用係  
TEL 5712・5101  
setaboraa@otagaisama.or.jp

### 京 夕食会調理スタッフ募集

毎週土曜日開催の夕食会調理スタッフを募集しています。詳細は、面接打合せにて決めていきます。と思っています。具体的には、事前にメニューを決めていただく、毎週土曜日の午後からその日の参加者数に合わせて食材等を購入、調理場にて調理をして、17時に夕食会開始となります。グループホームを利用の皆さんと楽しいひとときを過ごしませんか。ぜひ関心のある方のご応募をお待ちし

ております。  
●日時/毎週土曜日13時頃～18時頃まで  
●場所/世田谷区粕谷4丁目

●交通/千歳烏山駅徒歩5分  
●条件/調理経験が豊富な方  
●募集人数/1～2名  
●問合せ/特定非営利活動法人世田谷さくら会 さくらハウス担当 鳥山  
TEL 56384・0755  
nq151885@nrfy.com

### 講座・その他・募集

#### 小 第28回 神戸をわすれない

「神戸20年に学び、首都圏直下型地震に備える」

映画上映「震災復興のあゆみ〜あの時と今〜」(2008年製作、33分)

トーク「神戸から学ぶ、まちづくりそして仮設市街地構想」

パネリスト/原昭夫(復興まちづくり研究所) 河合節二(野田北部まちづくり協議会) 青池憲司(映画監督)

●日時/1月31日(土) 18時～21時

●場所/らぶらす11階研修室(北沢タウンホール内)  
●参加費/500円(資料代)  
●主催/神戸をわすれない・せたがや  
●共催/復興まちづくり研究所、せたがや災害ボランティアセンター  
●問合せ/神戸をわすれない・せたがや 担当 星野  
TEL 3427・8447  
marzoh@gmail.com

## 小 梅丘ミニバザーお得意・食器市の開催

梅丘ボランティアアビュローでは、1月に【お得意市】、2月に【食器市】を開催します。5点で300円と大変お得なバザーです。（一部対象外もあり）ぜひこの機会にお誘い合わせのうえ、足をお運びください。

【お得意市（衣類・バッグの販売）】  
●日時／1月23日（金）、24日（土）11時～15時

※編み物ボランティアによる冬物作品なども販売します。

「なかなか気軽に外に出られない…」寒い季節の外出は大変！日頃そんな風に感じて出る方も、みんなで新年を感じて楽しむ過ごしませんか？福祉車両での送迎可能ですが、送迎不要の方、小さいお子様連れの方も大歓迎！お問い合わせ、お申込みは「そとでる」までお気軽にどうぞ！

●日時／1月17日（土）14時～16時

●場所／世田谷区総合福祉センター  
●内容／古今亭志ん松さん落語上演 ■沖縄民謡生演奏 ■ボランティア

## 小 バリアフリー新年会

ティア劇団「te」による忍者シヨー

●参加費／5000円（軽食代含む）。乳幼児は無料。※送迎の必要な区内在住の方は送迎代として片道1000円（区外の方は応相談）

●問合せ／世田谷区福祉移動支援センター「そとでる」

TEL 5316・6621  
info@setagaya-ido.or.jp  
http://www.setagaya-ido.or.jp/htdocs/

## 市民社会をつくる ボランティアフォーラム TOKYO2015

ボランティア活動や市民活動に関心のある方々、実際に取り組んでいる方々を対象に、「市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO2015」を開催します。

「グローバルとローカル」、暮らしと居場所、「ボランティアリズムと組織運営」、「今と未来」の4カテゴリー、33の多様なプログラムを考えます。分科会の詳しい内容はホームページをご覧ください。

また、開催期間中、記録（写真撮影）やカフェなどに協力いただけるボランティアを募集します。詳しくは1月30日までにお問合せください。

●日時／2月6日（金）、7日（土）、8日（日）※1日のみ、1プログラムのみ参加も可（要申込）  
●場所／飯田橋セントラルプラザほか

●参加費／一般2000円、大学生・専門学校生1000円、高校生以下・18歳未満の方は無料  
※親子で利用できる休憩室あり。有償の託児サービスを希望される方は1月23日までに申込み。

●問合せ／東京ボランティア・市民活動センター  
TEL 32335・1171  
http://www.tvac.or.jp

## 小 子育て支援者養成研修

地域の子育てを支援（一時預かり等）して下さる方を募集しています。講座は全6回。子育ての基本的な知識を学ぶことができます。

●日時／1月26日、29日、2月5日、9日、12日、16日、9時～12時45分 + 見学実習（別日）  
●応募資格／18歳以上で研修修了後、ふれあい子育て支援事業に

協力くださる方

●場所／世田谷区社会福祉協議会本部3階研修室

●交通／成城学園前駅徒歩3分

●参加費／2000円  
●申込み／世田谷区社会福祉協議会ふれあいサービス係  
TEL 54229・2205

# 講座・その他・募集

## 東 傾聴ボランティア養成講座

「無縁社会」と呼ばれ、孤独・孤立が広がっています。「足や目が悪くなり、外出が難しく、友人と会う機会が減ってしまった」「耳が聞こえにくくなり、ディスプレイなど集団の中だと疎外感を感じてしまう」などの声がボランティアセンターには多く届きます。

日常の中でゆっくりと会話をする機会が得られない方が少なくありません。自分のペースで安心して話せる機会をつくれる傾聴ボランティアを必要としています。

この傾聴ボランティア講座は、少人数、全6回、体験学習を通じて話すことや聴くことを感じ、味わいながら丁寧に傾聴を学んでいきます。講座終了後は、学習会を通じて継続的に学びながら、個人

## 東 ココカフェ (Coco cafe)

発達障がいのある方、「こころ」でいっしょにゆっくり過ごしませんか。ご家族や関心のある方も、ちよっとのそぎに来ませんか？

●日時／1月9日(金) 13時～16時、毎月第2金曜日

これまで20年にわたって、さまざまな方がたの分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方もお誘いあわせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／1月17日(土) 14時～

## 世 「もつと語ろう不登校 PART 1-87」

●場所／人の泉・オーブンスペー  
スBe!

●参加費／300円(カンパ歓迎)

●交通／世田谷線山下駅徒歩6分

●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もつと語ろう不登校」担当 佐藤

TEL 53000・55881

## 小 代田テーブルゲームの会

### お正月遊びをしてみよう

◇◆代田テーブルゲームの会が始まります!◇◆

代田テーブルゲームの会とは、地元につながるが欲しい・何か活動を始めたいという若者や、そんな若者を応援してみたいと思う地域の方が、みんなで集まって楽しく過ごせる場づくりや、そこから広がるボランティア活動を一緒に考えています。協力者も募集中!

第1回目のテーマは、「お正月遊びをしてみよう」。勝ち抜きカルタ大会や福笑いなど、お正月遊びで思いっきり遊んだ後は、持ち寄りのお菓子を囲んでお茶飲み話を! テーブルゲームって何!?という方も、ぜひ一度遊びに来てみ

●場所／代田ボランティアビュー  
ロ

●持ち物／お菓子1袋(持ち寄ったものをわけて食べましょ)

●申込／当日朝10時までに電話またはメールで申込。定員20名になり次第×切。

●問合せ／代田ボランティアビュー  
ロ 担当 吉田

TEL 3419・4545

databorora@otagaisama.or.jp

## 小

### 福祉施設のためのボランティア受け入れ講座

ボランティアを受け入れるのはなぜ？ 他の施設のボランティア受け入れの実情は？ 施設でボランティア受け入れを担当するスタッフと、利用者、ボランティアのそれぞれの気持ちを尊重し、より良い関係をつくる方向を探ります。

他の施設のボランティア担当の方々と交流の中でお話しておきたいポイントを学びます。現在区内の施設で活動しているボランティアさんに率直な感想を聞く時間も設ける予定です。他の施設のボ

## 東

### バザー提供品のお願ひ

恒例「玉川ビューローバザー」を2月27日(金)、28日(土)に開催します。それに伴い、提供品を求めています。新品または新品同様の婦人服、子ども服、バッグ、アクセサリー、靴、贈答品、食器、雑貨のご提供をお待ちしております。なお、紳士服・おもちゃ・書籍など受付できないものもありますので、詳しくはお問合せください。

ランテニア活動、またボランティアする人の気持ちを知る貴重な機会です。多くのおみなさんのご参加をお待ちしています。

●日時/3月7日(土) 14時～16時

●場所/代田ボランティアビューロー

●参加費/500円

●問合せ/代田ボランティアビューロー

TEL 3419・4545  
otabor@otagaisama.or.jp

●提供品受付期間/1月31日(土)～2月10日(火)(日曜を除く) 10時～16時

●場所/玉川ボランティアビューロー

●交通/二子玉川駅より徒歩5分 玉川税務署となり

●問合せ/玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528  
tamabora@otagaisama.or.jp

## 小

### 津田大介さんと語る子どもの未来へ福島支援から

パネルディスカッション/津田大介(ジャーナリスト) 宍戸仙助(元福島県伊達市富野小学校校長) 高橋真知子(福島の子どもたちとともに・川崎市民の会代表) 上國料竜太(NPO移動保育プロジェクト) 保坂展人(世田谷区長)

●日時/1月18日(日) 13時15分～16時半

●場所/梅ヶ丘パークホール

●参加費/500円(資料代)

●主催・問合せ/福島の子どもたちとともに・世田谷の会

fukusetatemon@gmail.com  
http://saerufukids.jimdo.com/

●後援/世田谷区、世田谷区教育委員会、世田谷ボランティア協会、世田谷区社会福祉協議会

## 助成

### 「ゆめ応援ファンド」助成事業

ゆめ応援ファンドは東京都内におけるボランティア・市民活動の開発・発展を通じて市民社会の創造をめざすために地域住民や民間団体のボランティア・市民活動に対し必要な資金の助成を行います。

●助成先/ボランティア・市民活動団体(法人格不問)、ボランティア・市民活動を推進している民間非営利団体

●助成内容/下記のいずれかの事業①学習会・研修会の開催②調査・研究の実施③器具・器材の開発・購入④活動にかかわる市民への啓発の実施⑤ボランティア・市民活動団体による先駆的・

モテルの活動⑥その他(※今回は特に当事者グループ・セルフヘルプグループなど、同じ経験や体験のある者同士の会の活動やつどいの実施等を助成対象の重点とします)

●助成金額/1件(1事業)につき50万円以内

●受付期間/1月31日(土)当日消印有効(持参の場合17時まで) 詳細はHPを参照

http://www.tvac.or.jp/page/tvac\_yumefund

●問合せ/東京ボランティア・市民活動センター基金助成係

TEL 3235・1171

## 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

### ●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

### ●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒158-0083 奥沢8-13-10 TEL (5829)8741 FAX (5829)8743

### ●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬2-20-9 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒158-0083 奥沢8-13-10 TEL (5829)8742 FAX (5829)8743

### ●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)  
\*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

## 拠点は今… 今月のおススメ!

### ◆センター&ビューローより

明けましておめでとうございます。新しい一年のはじまり、新しいことを始めてみませんか？  
人とのつながりを大切に、今年も多くの人との出会いを楽しみにしています。

### ◆ふらっと& with より

明けましておめでとうございます。今年、ふらっとは開所19年目、withは9年目を迎えました。  
ひとえに皆様のご支援のお陰です。今年も「らしさ」を忘れない活動を大切にしたいと思います。

### ◆チャイルドラインより

受け手養成講座を修了した19期インターン生13名を新しい仲間を迎えました！  
1月15・16日のポロ市でもガレッジセールやります！福岡・黒木町のおいしいみかん・乾物・梅干も販売します。

### ◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

## 編集後記

- あけましておめでとうございます。読みやすく親しみやすい誌面づくりをがんばります。今年もよろしくお願ひします。
- 阪神大震災当時に生まれた子どもが成人式を迎える年になりました。終戦から70年を迎える節目の年でもあります。時代がめぐって悲惨な経験を繰り返さないよう、過去に学び、いまに生かさなければと思ひました。
- タガヤセ大蔵の取材にお邪魔したその日、世田谷トラストまちづくり大学の専門講座が行われていて、地域の人たちが集まって「タガヤセ大蔵」の場をどのように活用しようか、活発な議論が行われ、おもしろいアイデアがたくさん飛び交っていました。これからますます注目です！（み）

- 発行  
社会福祉法人  
世田谷ボランティア協会  
〒154-0002  
世田谷区下馬2-20-14  
TEL 03-5712-5101  
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL  
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ  
<http://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人  
興柁 寛